



まちづくりの基本方針

問 令和2年の都市計画マスタープランの改定に向けた市民アンケート調査が実施された。その中の道路交通については、「車の交通量が多いので危険を感じる箇所がたくさんある」の問いに「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合は約28%のみとなっている。

答 アンケートの結果から道路整備が進んでいない

大規模災害に備え

問 新たな物流施設との災害協定は。

答 今後、入居するテナント企業の業種等を精査し、協定の締結に向け研究する。



タブレット学習の課題を踏まえた改善を
足立 志津子議員

問 ものを書く力が身につかないなどデメリットに対する対策は。

答 学習画面や学習法等に応じて紙とデジタルを併用し、正確に文字を書く力の育成に努めている。

問 専門職の継続性の確保は。

答 発育や発達に不安のある子どもたちに、適切な療育を行うことができる十分な力量のある事業者を選定し、契約することが重要であると認識している。

自転車ネットワーク計画と市民の安全

問 計画の進捗は。



矢羽根マークは自転車専用

答 福岡中央公園付近などに矢羽根型路面標示の自転車指導レーンを設置し、達成率は約14・6%である。

問 自転車の通行方法の周知は。

答 市ホームページで周知啓発を行っている。

補聴器利用で健康寿命を伸ばす

問 検診に聴力検査を加え、難聴の専門医につなげる機会を。

答 早期発見・早期受診促進の取り組みと、補聴器相談医のいる医療機関の周知を進めている。



土木費予算が少ない
原田 雄一議員

問 令和2年の都市計画マスタープランの改定に向けた市民アンケート調査が実施された。

答 その中の道路交通については、「車の交通量が多いので危険を感じる箇所がたくさんある」の問いに「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合は約74%となっている。

問 市の面積が近い10kmから20kmの富士見市、朝霞市、戸田市など8自治体の平均と比較すると、令和4年度では人口1人当たりでは8自治体の3万7022円に対し、本市は3万5866円、令和5年度では人口1人当たりでは8自治体の3万3009円に対し、本市は3万1340円であり少し下回っている。他市と比較しても低い水準ではない。

大規模災害に備え

問 新たな物流施設との災害協定は。

答 今後、入居するテナント企業の業種等を精査し、協定の締結に向け研究する。

意見書

全員賛成で可決

有害なインターネットの情報から子どもを守ろう

青少年有害情報へ誘導するインターネット広告の規制を求める意見書

インターネットは大人のみならず青少年にとっても欠くことのできない情報ツールです。その一方で、誰もが閲覧可能なホームページにも青少年にふさわしくない有害情報につながる広告が表示される事例が数多く報告されており、青少年の健全育成に大きな問題となっています。

国はインターネット関連事業者に対して青少年を有害情報から守るガイドラインの策定を働きかけ、安全なインターネット環境を整備することを強く求めます。

送付日：令和7年3月19日（主意抜粋）

生活・福祉常任委員会

ふじみ野市立児童発育・発達支援センターを調査

令和4年度に公設化されたふじみ野市立児童発育・発達支援センターの視察調査を令和7年2月3日に実施しました。

センターでは、発達総合相談支援事業を市が行い、療育部門等専門的支援事業をふじみたんぼぼ園が行っている。

園での節分行事では鬼にふんした職員が子どもたちが楽しめるように工夫していた。

また、親子支援事業であるさくらんぼ教室は、療育の窓口となり、保護者が孤立感から抜け出せる場所でもあった。センターが地域の中核施設としての役割を担い、切れ目のない支援を目指していることを確認した。



普段聞けない業務を学ぶ



傷んだ舗装の修繕を

問 八潮市の道路陥没を受け本市の現状は。

答 県で管理する口径2千mmを超える管きよの緊急点検を実施した。市内に埋設されている管きよに異常は確認されていない。

問 八潮市の原因となった管きよと比較して、浅い位置にあり口径が小さいため同様の事故が起こる可能性は低い。引き続き目視点検と管路調査を実施していく。

問 上野台銀座商店会周辺の道路改修は。

答 かつてカラー舗装し

た道路は劣化が著しいと認識している。できるだけ早い時期に整備をしていきたい。

小・中学校校庭の水はけの改善を

問 花の木中学校は昨年度ぬかるみがひどく、体育祭が二度延期された。ぬかるみやデコボコ解消に向けての対応は。

答 市内一部学校では、一時的に校庭に雨水を溜め置き、水路や河川等へ一気に流出しないようにしている。

花の木中学校校庭も同様の機能を有しているが、長年の使用等により中央部分が低くなり、水たまりやぬかるみが生じやすい。

令和7年度に校庭用の砂を補てんし、表面排水を促す等の修繕対応を行う計画をしている。



きれいな公衆トイレを
小林 憲人議員



上福岡駅西口駅前の公衆トイレ

よう有効な収集方法を引き続き検討する。

出生届のオンライン対応を

問 国は、令和8年度のオンライン化を目指している。今後の見通しは。

答 国の動向に注視し、出生届のオンライン化の実施に向け、適切に対応していく。

インフラ整備基金の創設を

問 老朽管の更新ペースが経年劣化に追いついていない。安定的で持続的な上下水道のインフラ整備のため、基金を創設しては。

答 直ちに基金の設置は考えていない。しかし、特定の年度に多額の財政出動が見込まれる場合もありうるので、慎重に調査研究していきたい。



安心して通行できる市内の道路
鈴木 宏樹議員